帝國議會の議事筆記

帝國議會も愈々本月末を以て開會するに既ては本社は當春來印刷器械を增加し器械場を新築する等兼て其準備を整頓し居れば開會中は既時に日々の紙面一二頁乃至四頁を增加して詳細なる議事筆記を掲げ別に記者を議場に派して議事の模樣并に各議員の議に付詳細なる批評及記事を速日の紙上に登錄すべし且つ開會中新報の配達遞送を神速にするの用意も既に整へたれば開會の當日よりは詳細ある議場の記事を紙上に掲げ且つ其配布を速にし全國の讀者をして日々議場に出入するの思ひあらしめ以て平生の愛顧に答へんとす

廿三年十一月　時事新報社

時事新報定價

時事新報へ一年三百六十五日一日も休刊せず其代價遞送料廣告料へ左ノ如シ

一枚二錢〇一箇年前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓

〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	一日以上	七日以上
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日并に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に郵便の實費を申受く可し

時事新報

帝國議會の開院式

帝國議會は本月二十五日を以て東京に召集せられ兼議院議員副議長の撰擧も終りて既に勅命もあり貴衆兩院とも諸般の準備整ふて玆に議院の成立を告げたるに依り愈々本日を以て車駕親臨の上開院式の擧行ある可しと云ふ抑も國會の開設は維新當初よりの聖慮にして一日も怠らせらるゝみどなく明治十四年に愈々二十三年を期して開設との勅諭あり爾後在廷の臣僚に命じて其計畫に怠らず昨二十二年に至りて憲法の大典を公布せられ遂に今年今月今日を以て開院式を見るに至れり斯の如く東洋未曾有の盛事ある我國の國會が滯なく今日の好結果を得たるは一に之を聖德の高大なるに歸せざる可らずして誠に目出度次第なりと申す可し然り而して之を西洋諸國の先例に徵するに國會の由來は樣々にして其中には餘り目出度からぬ事情の中に發生したるものも少なからざるに我國に於ては世人の知る如く官民上下ともに其希望を一にし全國の和氣洋々の中に其開設を見るに至りしは偶然の幸運に似たれども更に深く其發達の原因を探ぐれば自から由來の久しきを見る可し抑も國の政治を公開して人民に參政の權利を與ふる可しとの說は西洋文明の新政理に基きたるものにして日本の立國古しと雖も西洋傳來の說を外にして國會云々の議は古來未ざ曾て聞かざる所なり然るに明治六七年の頃より國會の文字漸く世間に現はれて識らずも一世を風靡し終に今日の事實を見るに至りし次第なれども其發達の起原に溯れば明治六七年の頃にもあらず又王政維新の前後にもあらずして遠く我國開港以前の時代に在りと云はざるを得ず蓋し天下有識の士人は其時代に在りて既に世界の有樣に於て日本立國の容易ならざるを悟り窃に西洋の新理を輸入して國勢の一新を期したれども當時政府の有樣と云ひ全國の人心と云ひ時勢全く不可にして其卓識は適まゝ以て禍を招くの媒介となるべきのみなれども有志の人々は固く執りて其精神を改めず窃に新理の講究に怠らざる折柄偶ま〻開港の事あり、愈々我立國の爲めに文明の新理を輸入し國勢を改革するの止む可らざるを感じ益〻斯事に勉たるの結果空しからずして終に維新革命の機に遇ひ政體の基礎を定むるに當りては其年來の勉勵苦心與りて大に力あるを見る可し其次第如何となれば王政維新は政府の實力の變遷にして若しも日本從來の有樣あらば一の德川氏倒れて他の德川氏出れば代り政府の主權者に更迭を見るのみにして政體には毫も變更なき筈なれども維新の革命は然らずして之と同時に全く國の政體をも一變したり即ち明治元年三月を以て發せられたる所謂五條の誓勅なる廣く會議を起し萬機公論に決す云々以下の意味は明に國會を開て立憲の政治を行ふの精神を窺ふに足る可し蓋し有識の先覺諸氏が文運草昧の時代より身命を犧牲にして一心文明の新理を講じたる其效空しからずして次第に全國の人心を勵かし遂に政體の改革を促したるものにして日本の國會は明治二十三年の今月今日を以て開けたりと雖も其起原は遠く開港以前の時代に發し王政維新の當初に於て其基礎を確定したるものと云はざるを得ず爾來日本政治の針路は朝野官民の別なく改進々歩の一方に向ひ順風に帆を揭げたると同じく彼の明治六七年頃の國會談は又は十二三年頃の國會開設請願の如きは畢竟空中に風あるを示すの風見に過ぎざるのみ左れば今日の議會に出席する議員諸氏は恰も此順風に乘じ國會の港に達したるものにして偶然の僥倖とも云ふ可きが如くなれども顧みて其發達の由來を考ふれば今日の有樣を致したるは決して偶然にあらずして益〻〻責任の重きを悟る可きのみあらず更に一歩を進めて考ふれば國會は既に開けて我國の政治上に一段落を加へたりと雖も日本立國の急務は政治の一方のみならずして然かも其進歩發育を要するもの一にして足らず而して是種の事は今後議員諸氏の盡力に依るもの少なからざれば其の責任は益〻〻重しと云はざるを得ず我黨は諸氏が本日の開院式に際して聖恩の辱なきに感佩すると同時に稽古徵今益〻〻其身の責任の輕からざるを心に銘し國の爲めに盡す所あらん事を願るものなり

世界

〇世界は支那人の有とおるべし　英國のウォールスレー卿は近頃レヴュー オヴ レヴュースと稱する批評雜誌の紙上に於て支那人の將來大に望みあるみどを豫言せり其文左の如し

支那人は將來大に望みある國人なり乎（ウォルスレー卿）の見る所を以てすれば早晩世界を一統するみどあるべし蓋し之を一統するには今の天下に充滿する英蘭種族に打勝たざるべからず之に打勝つまでには鬼爭あるに相違なけれども此鬼爭を外にして佛國と獨逸の間にも敵爭起りて古來歐洲に未だ曾つて見ざるの大爭鬼あり又王政維新の前後にもあらずして遠く我國開港以前の時代に在りと云はざるを得ず蓋し天下有識の士人は其

めて進歩を始ひべく一たび勃興すれば第一着手として露國の境に侵入すべし名將の訓練を受けて兵事に慣れ死を屑ともせざるに加へて其天性の忍耐を以てすれば露人は忽ち敗北して其版圖は悉く支那人の有に歸すべく次に進んで印度に侵入し我英國民を海外に撥り立つれば而細亞一國は悉く眼方なり夫より尙も進んで英人米人濠洲人を征服するならば敵せんと欲して敵すべからず世界擧つて悉く彼れの有となるに至るべし故に英國の政略は今より其心構へして支那人と深く相結托するみそ肝要あれ其之を爲すに當りては如何ある利益を犧牲に供するも惜むに足らざるなり云々

右の議論一たび世上に顯はれてより彼是れ其當否を論議するもの少からず現にセルメルガゾットの如きは其想像を挿繪にして一セーヒの紙面を塡め又昨日の横濱メールは其說に反對して今日までの成行より考ふるに決して支那人に左る見込みあるべしとは思はれずと論じたり

〇曾國荃伯の後任　支那の直隸總督と兩江總督（府は南京に在り）は總督中の最も緊要なるものにして一方の直隸は李鴻章伯が總督たり兩江は有名の功臣曾國荃伯が總督たりしが曾伯は過般老病を以て歿したるに付き何人が其後任に就くならんと思ひしに安徽巡撫沈葆楨氏が任せられたる由氏は浙江省南濠の人にして十五年前曾つて上海の道台たりし事あり其後河南四川の臬司、北京巡撫等の間に歷任し頗る名聲ありしかども今度の任命は非常の昇進なりとぞ

〇臺灣鐵道の延期　臺灣鳴水轉脚の下より基隆に至る一帶の鐵路工事は略ぼ築成に至り橋梁も亦已に竣工を告んとする有樣なれば行車を始むるも近きにあるならんと云へるが聞く所によれば去月の末驟雨に出水して鐵路を衝壞するみどあり凡そ五六十丈橋梁も虛々崩壞せし所ありしかば總辦役黨幼雲は直ちに匠師に命じて之を修理中なり去れば之れが落成迄には多少時日を要するならんと云ふ

〇町田漢江領事　支那漢江には僅かに數人の日本人あるのみなれども領事廳の設けありて町田貫一氏が領事たりしが同氏は本月廿二日上海發の西京丸にて長崎に着し鄉里鹿兒嶋に暫時滯留の後上京して公務を終へ職を辭したる上は歸鄉して農商業に從事する筈なりとぞ

〇帝國議會の行政監督權と會計補則　憲制度の組織は歐米各國皆多少の異るところありて一概あらずと雖も其由來を尋ねれば皆英國の立憲制度に倣ふたるものに外あらず英國の立憲制度は國會に與ふるに豫算議定、立法參與、行政監督の三大權を以てせり故に歐洲大陸の諸國一として此例に倣はざるあし我國憲法の如きも歐洲の立憲制度に模倣して編制したるみど勿論あれば行政監督權の議會に屬するは云はずして明かなる可し抑も國會が行政を監督するの法一ならずと雖も今日の慣例は豫算討議の際其綱目に付き說明を要し請求し難議する等の方法に依るを常とす而して宰相彈劾權の如きは不祥の甚だしきものにして行はるゝみど甚だ稀なりと云ふ我憲法第六十八條には憲法上の大權に基ける既定の歲出及び法律の結果により又は法律上政府の義務に屬する歲出は政府の同意なくして帝國議會之を廢除し又は削減するみどを得ずとありて會計補則は更に此條を解釋して既定の歲出以下に屬する豫算費目を詳記し議會にて左右すべき歲出を全豫算の十分一までに縮めたり左れば全歲出の十分一に付ては帝國議會が行政監督の權を有せざるに付ては議會は問あり左りながら九の歲出を自由に議して政府の同意なくして帝國議會之を廢除し又は削減するみどを得ずとありて會計補則は更に此條を解釋して既定の歲出以下に屬する豫算費目を詳記し議會にて左右すべき歲出を全豫算の十分一までに縮めたり左れば全歲出の十分一に付ては帝國議會が行

右終りて直に府算等の一次會より引續き開會する四年度支出收入

一三	市郡驛帝支
十一九萬千七	市部支收像
一萬八千八	
六十三萬四千	
八十九萬九千	
中一千三百	
十二萬千	
八萬九千	
三萬八千	
三十三萬	郡部支收像
八萬零千四	
一十八萬三千八	
內九千三百	
一萬四千	
六萬五千	
一萬三千	

之ヲ諸君ニ提出スル方枳支辨ノ總額ハ五圓十二錢八厘八萬千三百四十五千五百十一議案ヲ編成スル酌其宜キニ就キ議院議員撰擧費及ヒ郡ノ費途アルヲ至レリ幸ニ諸君ノ適當ノ決議アラン

明治二十三年

諸君明治二十三年度ノ豫算等ヲ議ス

○東京府會　議事堂に於て一昨日は午後開けり同日は午前開會式を場して開會式を

○立憲自由黨　黨を申込む者頗の數積りて夫るものは總て一十五日の結黨式するときは一日ありといふ

○東京府會　議事堂に於て一昨日は午後開けり同日は午前開會式を場して開會式を

○世界は支那人の有とおるべし　英國のウォールスレー卿は近頃レヴュー オヴ レヴュースと稱する批評雜誌の紙上に於て支那人の將來大に望みあるみどを豫言せり其文左の如し

支那人は將來大に望みある國人なり乎（ウォルスレー卿）の見る所を以てすれば早晩世界を一統するみどあるべし蓋し之を一統するには今の天下に充滿する英蘭種族に打勝たざるべからず之に打勝つまでには鬼爭あるに相違なけれども此鬼爭を外にして佛國と獨逸の間にも敵爭起りて古來歐洲に未だ曾つて見ざるの大爭鬼あり又王政維新の前後にもあらずして遠く我國開港以前の時代に在りと云はざるを得ず蓋し天下有識の士人は其

政監督の權を有せざるに付ては議會は問あり左りながら九の歲出を自由に議して政府の同意なくして帝國議會之を廢除し又は削減するみどを得ずとありて會計補則は更に此條を解釋して既定の歲出以下に屬する豫算費目を詳記し議會にて左右すべき歲出を全豫算の十分一までに縮めたり左れば全歲出の十分一に付ては帝國議會が行